

安心して子どもを産み育て、心やすらかに暮らせるまち

**安** 心して子どもを産み育てられる環境や支援体制をはじめ、保健・医療・福祉施策を充実し、子どもから高齢者まで、生涯心やすらかに暮らせるまちづくりを進めます。

**入院時の医療費助成を  
中学3年生まで拡大**

これまでの乳幼児医療費助成事業を「子ども医療費助成事業」に改め、入院については中学3年生まで助成対象範囲を拡大します。また、保育園・幼稚園にかかる第3子以降の保育料無料化事業は、新たに私立認可外保育所に入所する児童についても助成を行います。

**赤ちゃん誕生応援事業**（妊婦健康診査費助成事業）や不妊治療の医療費の一部を助成する事業を継続実施するとともに、4歳未満児保育を実施している私立認可外保育所に対し一部助成を行います。

**誰もが安心して暮らせる  
長寿社会の実現のために**

高齢者支援は、介護・予防・生きがいづくり・地域ケアの視点で、「ほっとときやっするパス」「生きがいデイサービス」「介護予防教室」「老人クラブやシルバー人材センター事業の支援」

産業の活力を生む新しい価値を創造し続けるまち

**地** 域資源を最大限に活用し地場産業の活性化と雇用の拡大を図るとともに、若者が魅力や働きがいを感じられるビジネスモデルを開発し、新たな白石のイメージ形成やブランドの構築を目指します。

**定住促進と商店街の活性化**

定住化の促進を図るため、「白石市定住促進奨励金交付事業」「白石市転入者等支援市営住宅補助金交付事業」「白石市新成家賃補助事業」などを継続するとともに、空き家情報やイベント情報などをホームページやマスメディアを通じて発信し、定住化の促進と交流人口の拡大、地域の活性化を図ります。中心商店街の活性化は、地元商店組合などが行う中心商店街活性化に関する事業に各種助成



▲白石市観光大使（すまいる大使）の山崎パニラさん（上）と白石戦國武將隊「奥州片倉組」の皆さん

**市** 民が主役となる舞台を準備するとともに、市民・企業・団体・NPO・行政などが協働しやすい環境を整備し、地域づくりの醍醐味を実感できる成熟したパートナーシップの構築を目指します。

**市民の皆さんとともに**

市民活動の支援は、「やる気応援事業（地域コミュニティ育成支援事業）」を継続するのをはじめ、白石市のキャラクター「こじゅうろうくん」や「ポチ武者こじゅうろう」「アニメ」白石の妖精びちなど、デジタルコンテンツの活用やホームページでの情報発信を通じて地域づくり活動を支援します。



▲自分たちの特技を活かして地域づくりに貢献（やる気隊「大鷹沢子ども太鼓の会」の皆さん）

また、道路の清掃などのボランティア活動に意欲を持つ地域住民や企業の方々と行政とのパ

市民が主役になって地域をつくり、交流を楽しむまち

事故による放射能汚染は農林畜産物においてその影響が懸念されていることから、地域農業を全力で支援します。

まず、生産者と消費者の交流を推進し、販路拡大に結びつくよう「農産物直売所」をサポートするとともに、集落営農の組織強化の促進と農業の育成を図ります。また、野生鳥獣による農作物への被害が拡大していることから、「農林作物鳥獣害防止対策事業」を継続します。

さらに、水稲作付け農家に対して、放射性セシウムの吸収抑制効果のあるカリ肥料を配布するとともに、農畜産物の安全性を確保するため、市内で生産された農畜産物の放射性物質検査を継続して行います。

**製造業の振興と交流人口の  
拡大を図る**

製造業の振興を図るため、民間企業と協力し、伝統産品のパッケージにアニメやゲームのキャラクターとして人気の高い片倉小十郎公をデザインした商品開発の支援を行うとともに、インターネットを活用した情報発信により、新たな購買層を創出する取り組みを支援します。

インターネットによる「しろいしサンキューロード・プログラム」を継続実施し、住民参加のまちづくりや良好な道路環境づくりを図ります。

登別市・海老名市・ハーストビル市との姉妹都市交流、札幌市白石区との友好都市交流は、昨年の「トライアングル交流宣言」を契機として白石市姉妹友好都市交流協会、白石市国際交流協会を中心に、次世代を担う青少年のスポーツ・文化活動の親善交流や国際感覚豊かな青少年を育成する事業を展開します。

交流人口の拡大には観光振興が欠かせません。震災からの復興、白石の観光再生の姿を全国に向けて強く発信するため、白石市観光大使の山崎パニラさんと白石戦國武將隊「奥州片倉組」の皆さんなどからご支援をいただきながら、広報ラジオ番組や地元タウン誌などで観光情報を発信するほか、本市の魅力ある観光資源を活用した体験ツアーモデルプランの構築など観光開発宣伝事業を実施します。

平成25年4月から6月には、国内最大規模の観光キャンペーンである「仙台・宮城デスティネーションキャンペーン」が5年ぶりに開催されます。これを受け宮城県では、本年4月から6月に「仙台・宮城【伊達な旅】春キャンペーン」を展開します。本市もこのキャンペーンに参画し、新たな観光素材を盛り込んだ事業を展開します。

さらに、「全日本こけしコンクール」「白石市民春まつり」「白石夏まつり」「しろいし蔵王高原マラソン大会」「鬼小十郎まつり」「農業祭」など、四季折々のイベントを市民の皆さんとともに盛り上げ、交流人口の拡大を図ります。



**放射能対策事業**

- 放射線測定・除染対策事業（事業費：7,564万8千円）  
空間放射線量・食品などの放射能測定を実施するとともに、除染実施計画に基づき放射性物質による追加被ばく線量を速やかに低減させるため、迅速かつ効率的な除染を実施します（平成23年度に引き続き実施）。
- 農作物等放射能対策事業（事業費：3,821万4千円）  
土壌に蓄積した放射性セシウムの吸収抑制剤として効果を発揮するカリ肥料をすべての作付け水田に散布し、水稲からのセシウム不検出を目指すとともに、農作物の安全性を検証するため、放射能検査員を配置し農作物の放射能検査を行います。
- 小学校、中学校、幼稚園環境美化事業（事業費：828万7千円）  
緊急雇用創出事業の一環として臨時職員を雇用して、市内小中学校などの敷地内・側溝・集水溝・雨どいなどの土砂や枯れ葉の除去・高圧洗浄・放射線量の測定などを行います（平成23年度に引き続き実施）。



**子育て支援事業**

- 子ども医療費助成事業（事業費：7,114万4千円）  
これまで実施してきた乳幼児医療費助成の対象者を入院に係る医療費の一部を、中学校卒業相当の年齢まで拡大し、名称を「子ども医療費助成事業」に改め、子育て支援の向上と子育て家庭における経済的な負担軽減を図ります。
- 低年齢児保育施設助成事業（事業費：343万8千円）  
低年齢児の保育需要が増加していることから、4歳未満児保育を実施している私立認可外保育所に対して助成事業を実施し、要保育児童家庭の保育を支援するとともに、待機児童の解消を図ります。
- 私立認可外保育園保育料第三子支援助成事業（事業費：72万円）  
保育園・幼稚園にかかる第三子以降の保育料無料化事業は、新たに私立認可外保育所に入所する児童まで対象を拡大して助成を行い、子育て家庭の経済的負担の軽減を図ります。